

コレクション紹介
杉本順一氏植物標本
杉野孝雄



アシタカマツムシソウのレクトタイプ標本

杉本順一氏の植物標本が静岡県に寄贈されたのは、25年前の1989年である。当時は県立自然史博物館の構想も固まっていなかった。貴重な杉本氏の植物標本が散逸しないように、元県立高校校長の故中村浩三氏と筆者で相談し、1985年頃から県に善処をお願いしていた。杉本氏も静岡県に寄贈することを了承し標本の整理を始めておられた。ご逝去されるとご遺族のお申し出もあり寄贈が決り、当時三島にあった静岡県立教育研修所に保管されることになった。

標本の保管方法、整理については筆者に相談があったので、保管は虫害・湿気などに強い茶箱を選び、長期の保存や移動に耐えるようにした。整理は定年退職後引き受けることにし、1992年から2年間で全標本を点検・同定、標本番号を付けたラベルを入れ整理した。

今回、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」に移管された標本は、防虫剤が入れられ痛みもなく、筆者が整理した頃と同じ状態で保管されていた。長期にわたり大切に保管されていたことが推察され、保管に関わった関係者の努力に深く感謝したい。



ウラジロハンノキのホロタイプ標本

寄贈された標本は維管束植物などの腊葉標本 61,870 点、果実・種子約 150 点。合計約 62,000 点である。静岡県産の標本は約半数で、外国の標本も 2,844 点ある。科別では 90 ~ 100% 収集されている科が多数あり、静岡県に該当する維管束植物は約 90% が在中している。重要なことはアシタカマツムシソウのように、杉本氏が関係されたタイプ標本が多数含まれていることである。最近、植物の分類が新しく見直されていることから標本を分析することで、新しい種や分布の発見などもあることが予測される貴重な標本である。寄贈された植物標本の内容は、下記の文献に詳細に説明されている。

杉野孝雄 (1997) 杉本順一先生が静岡県に寄贈された標本. 遠州の自然 20 : 17-25

杉野孝雄 (2006) 杉本順一先生植物標本の保管整理と活用. 遠州の自然 29 : 51-56

須山知香・杉野孝雄・植田邦彦 (2008) アシタカマツムシソウ (マツムシソウ科) のレクトタイプ選定とソナレマツムシソウ. 植物研究雑誌 83 : 246-252